

年度:2020年 LOM番号:416

【褒賞申請書】

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 事業名称 | The World is your friend～世界一周してみよう～ |
| カテゴリー | 最優秀LOM地域社会向上プログラム |

| | |
|---------|--|
| 申請LOM | 東北地区秋田ブロック 一般社団法人湯沢青年会議所 |
| LOMの人数 | 31名 |
| 理事長名 | 高橋 隆太 |
| 担当者名 | 古関 雄大 |
| 担当者携帯番号 | 090-4556-0368 担当者Mailydksk@yahoo.co.jp |
| 事務局住所 | 秋田県湯沢市柳町1-1-13湯沢商工会議所内 |
| 事務局TEL | 0183-72-0368 事務局FAX 0183-78-1222 |

| | | |
|----------------------|--|------|
| 本事業の参加者 | 会員数 | 22名 |
| | 関係者数 | 24名 |
| | 一般参加者数 | 152名 |
| 事業実施に至る背景 400文字程度 | <p>私たちが住んでいる湯沢雄勝地域では、様々な国から移住してきている外国人が少しずつ増加しております。しかし、身近に住んでいるにも関わらず外国人と交流する機会があまり多くないのが現状です。子どもたちが羽ばたく先の未来は、今よりも一層グローバル化が進み、ボーダーレスな社会になっていきます。そのような国際社会の中で自由に自分らしくいられるよう、国や民族の違いを受け入れ、外国人と共に生きていける力を持った子どもたちを地域で育てていく必要があります。</p> | |
| 事業目的 400文字程度 | <p>国際化が進む社会で、子供たちが今住んでいる地域や日本以外の世界に対してより深い興味を持ち、広い視野で物事を捉えることにより、外国の文化を理解できる子供たちを育成します。また、自身とは異なる文化を持った人が増加する今後の地域社会においても臆することなく共存し、やがては世界を舞台にしても自分らしく活躍していくことの出来る力を育み、自身とは違う見た目や言葉に臆することなく、国際交流の楽しさや魅力を知ってもらうことを目的とします。</p> | |

| | |
|-------------|---|
| SDG 'sの該当項目 | <p>(SDG 'sの該当項目を記載)</p> <p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>4. 7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。</p> <p>子供たちが自国と異国の違いを楽しみながら求知心を得て、自身に吸収する力をつける場に設えます。</p> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>17. 17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</p> <p>外国人移住者の協力の元、文化、言語、人種に違いがあっても世界は繋がっていることを体感し、子供たちの感受性と理解力を深めていく。</p> |
|-------------|---|

| | | |
|----------------------------|---|------|
| <p>事業概要</p> <p>400文字程度</p> | <p>国際交流委員会では地域に住まう海外出身者の協力を得て事業構築を致しました。地域の子供たちに対し5月定例会では、様々な国の文化やじゃんけんなどの遊びを学び、8月定例会では、協力者である海外出身者自らが調理した各国の料理を食べて食事のマナーや食事に関することを学びました。11月定例会では、その集大成として10カ国のブースを設え、会場の中でまるで世界一周旅行ができるような事業を実施しました。</p> <p>当日は各国のブース巡りに加え、時間ごとにそれぞれの国の遊びを体験し海外移住者や子供達と保護者、JC 会員も一緒になり国際交流の楽しさを共有しました。</p> | 様式 1 |
| <p>開催期間・ タイムスケジュール</p> | <p>2019年11月10日(日)</p> <p>13:00 事業開始</p> <p>・各ブース開始(事業終了まで)</p> <p>13:10 遊んでみよう Free World 交流の場・開始</p> <p>・時間ごとに違う国の遊びを体験</p> <p>16:20 遊んでみよう Free World 交流の場・終了</p> <p>16:30 事業終了</p> <p>16:40. 片付け開始 1時間</p> <p>17:40 監事講評</p> <p>アンケート記入(会員)</p> | 様式 1 |
| <p>開催場所</p> | <p>湯沢市広域交流センター *多目的ホール</p> <p>秋田県湯沢市字沖鶴69-5 TEL:0183-73-969</p> | |

| | | |
|---------------------------------|---|-----------------------------|
| 事業区分 | 新規 | |
| 公益・共益区分 | 公益事業 | |
| 事業総予算・収支 | 予算計：193,000円 支出計：189,150円 | |
| 協力団体 | 後援 | 湯沢市教育委員会、羽後町教育委員会、東成瀬村教育委員会 |
| | その他 | アウラフランカ秋田 |
| | | |
| | | |
| 事業対象者 | | |
| 行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度 | <p>2019年は栗山晃昇理事長の想いの元、国際交流をメインとした国際交流委員会が設置されました。年間事業計画書は委員会で作成して始めましたが、事業を構築する段階から地域に住まう海外出身者と共にアイデアを出し合い、子供たちにとってかけがえのない経験に出来るようお互いに意見をあつて事業をブラッシュアップしていきました。</p> <p>日本語教室やALTのネットワークにも助けられ、多くの事業協力者を巻き込み事業を実施することができました。</p> | |
| 結果 (RESULT) | <p>5月、8月定例会は事前募集により定員を決めて行い、11月は参加自由として多くの子供たちに国際交流を楽しんでいただきました。定例会に参加した子供たちは帰ってから家族と一緒に事業で体験をした外国語でのあいさつやじゃんけんをするなど、子供の吸収力に驚いたという声を多くいただきました。保護者からは海外出身者と触れ合う機会や、文化や食の違いなどを実感できてとてもよかったと好評で、事業の継続を望む声も多くいただきました。</p> | |
| | | |

| | |
|---------------------|---|
| 地域社会への影響 400文字程度 | <p>子供たちは今回の事業によって自分とは違う言葉や肌の色、文化を持つ人々と触れ合う機会を持てたことで、世界が広がったと保護者から好評でした。今後多様化していく地域社会では、地域に住む外国出身者の方との触れ合う機会も多くなります。そのような中でも子供たちは今回の経験を活かし、臆することなく共存することで自分らしく活躍してくれると考えます。</p> <p>また、地域に住まう海外出身者の方々との関わりを持ついい機会となりました。海外出身者の方は自国のことをもっと知ってほしい、教えたいという思いを持っており、今回の事業をきっかけに今後も青年会議所と協力をしな</p> |
|---------------------|---|

| | |
|---------------------------------|---|
| | <p>がら地域の人々に自国のことを伝える事業をしていきたいというご要望を頂くほど、良い関係を築くことができました。</p> |
| <p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p> | <p>2019年度国際交流委員会には入会1～2年目の新入会員が4名おりました。年間を通して21回の委員会を開催し海外出身者と共に事業構築や実施をいたしました。その経験が会員のJC活動への向上心へとつながり自身も成長した結果、その4名の新入会員全員が2020年度の理事メンバーとなり、今年度はさらに活躍しております。</p> |
| <p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p> | <p>子供たちは益々多様化する社会の中で自身とは違う言葉や文化、価値観をもつ異国の人々とも助け合って共生していく必要があります。今回の事業を行うことで自身とは違う国の人々との交流を楽しみ、理解を深められる機会を子供たちに創出することができました。</p> <p>幼少のうちから国際交流をすることで多くのことを吸収し、これから社会へ出ていく子供たちが大人になったときにこの経験を活かし地域で活躍してくれると考えます。</p> |
| <p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p> | <p>今回の対象者は年長～小学3年生としましたが、協力者や参加者からは年齢の幅を広げた方が多くの青少年に国際交流の楽しさや魅力をより伝えられたのではという意見をいただいたので、同じような事業を行う際は事業対象者の選定が大変重要と考えます。また、大人も楽しめたという意見も多く、親に対しても国際交流の楽しさや魅力を感じる一助となったと考えます。</p> |
| <p>改善点</p> | <p>この事業では外国の方とのコミュニケーションの取り方に苦労しました。協力者全員と会うことが難しかったため、メールでのやり取りとなりましたが 文法や言葉の伝え方の相違によりこちらの趣旨を伝えることや、お互いの考えを理解し合うことが難しい場面も多々ありました。事業を計画する上で相互理解が一番重要と感じましたので、今後同じような事業を行う際には、協力者の国の文化や歴史などをメンバーで事前に勉強し、相互理解を深め合いながら事業を円滑に運営することが必要です。</p> |

| | |
|---|------------------------------------|
| JCI活動計画の推進 JCI VISION活動計画の推進 JCI MISSION活動計画の推進 | (事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入) |
| 添付資料 PDF資料2MB、5ページ以内 | (事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など) |

(AWARDS TOHOKU 2020 申請概要)

副理事長 古関 雄大

11 月定例会 The World is your friend～世界一周してみよう～

一般社団法人湯沢青年会議所は2019年11月10日曜日に「11月定例会 The World is your friend～世界一周してみよう～」を湯沢市広域交流センターにて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この「11月定例会 The World is your friend～世界一周してみよう～」は自身とは違う見た目や言葉に臆することなく、国際交流の楽しさや魅力を知ってもらうことを目的として開催されました。事業対象者の44人中36人(82%)が自分だけのフリーワールドを完成させました。結果、目的を達成する事ができました。

| | |
|--|--|
| <p>事業名の「The World is your friend～世界一周してみよう～」は子供たちにこの事業で世界一周をしたような体験をさせたいという思いで命名しました。</p> |  |
| <p>詳細な事業内容 期日:2019年11月10日曜日 会場:湯沢市広域交流センター</p> | <p>写真 1</p> |
| <p>湯沢雄勝地域、横手市(主に十文字、増田)の保育園年長～小学校3年生までを対象とし、海外出身者がそれぞれの国の言葉でありさつをし、食べものや文化などを子供たちに体験してもらうブースを10か国つくり、入場時に配布してあるパスポート(自分だけのフリーワールド)にすべての国の方から入国サインをもらう体験型の事業を行いました。</p> |  |
| <p>また、定期的子供たちを集めていろいろな国のダンスや遊びを体験してもらい、日本にはない遊びや英語で「だるまさんがころんだ」をやってみるなど、色々な場面で国際交流を楽しんでいただきました。</p> <p>子供たちはもちろんですが親御さんも楽しんでいただけたようで、大変好評をいただいた事業となりました。</p> |  <p>写真 3</p> |